

5 東彼杵町企業管理規程第 3 号

東彼杵町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する
条例の施行に伴う水道事業関係規程の整備に関する規程をここに公布する。

令和 5 年 1 2 月 1 2 日

東彼杵町長 岡田 伊一郎

東彼杵町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の施行に伴う水道事業関係規程の整備に関する規程
(東彼杵町上下水道事業事務専決規程の一部改正)

第1条 東彼杵町上下水道事業事務専決規程(平成29年企業管理規程第16号)の一部を次のように改正する。

次の表に掲げる規定の改正部分は、下線の部分である。

改正後	改正前
<p>(目的)</p> <p>第1条 この規程は、<u>東彼杵町上下水道事業組織規程</u>(平成29年水道事業管理規程第2号。以下「組織規程」という。)第9条第2項の規定に基づき、<u>水道事業及び下水道事業(以下「上下水道事業」という。)</u>の管理者の権限を行う町長(以下「管理者」という。)の事務部局の権限に属する事務の円滑、かつ、適正な執行を確保し責任の範囲を明らかにするため、事務の専決について必要な事項を定めることを目的とする。</p> <p>(定義等)</p> <p>第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 決裁 <u>管理者</u></p> <p>がその権限に属する事務の処理について意思決定を行うことをいう。</p> <p>(2) (略)</p>	<p>(目的)</p> <p>第1条 この規程は、<u>東彼杵町水道事業組織規程</u>(平成29年水道事業管理規程第2号。以下「組織規程」という。)第9条第2項の規定に基づき、<u>水道事業管理者の権限を行う町長</u></p> <p>の事務部局の権限に属する事務の円滑、かつ、適正な執行を確保し責任の範囲を明らかにするため、事務の専決について必要な事項を定めることを目的とする。</p> <p>(定義等)</p> <p>第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 決裁 <u>水道事業及び下水道事業(以下「上下水道事業」という。)</u>の管理者の権限を行う町長(以下「管理者」という。)</p> <p>がその権限に属する事務の処理について意思決定を行うことをいう。</p> <p>(2) (略)</p>

(東彼杵町上下水道事業会計規程の一部改正)

第2条 東彼杵町上下水道事業会計規程（平成29年水道事業管理規程第3号）の一部を次のように改正する。

次の表に掲げる規定の改正部分は、下線の部分である。

改正後	改正前
目次 第1章 総則（第1条—第4条） 第2章 伝票及び帳簿並びに勘定科目及び予算科目 第1節 伝票（第5条—第8条） 第2節 帳簿（第9条—第13条） 第3節 勘定科目及び予算科目（第14条・第15条） 第3章 収入及び支出 第1節 収入（第16条—第27条） 第2節 支出（第28条—第48条） 第4章 預り金及び預り有価証券（第49条—第53条） 第5章 たな卸資産 第1節 通則（第54条—第70条） 第6章 たな卸資産以外の物品（第71条—第74条） 第7章 固定資産 第1節 通則（第75条） 第2節 取得（第76条—第84条）	目次 第1章 総則（第1条—第4条） 第2章 伝票及び帳簿並びに勘定科目及び予算科目 第1節 伝票（第5条—第8条） 第2節 帳簿（第9条—第13条） 第3節 勘定科目及び予算科目（第14条・第15条） 第3章 収入及び支出 第1節 収入（第16条—第27条） 第2節 支出（第28条—第48条） 第4章 預り金及び預り有価証券（第49条—第53条） 第5章 たな卸資産 第1節 通則（第54条—第70条） 第6章 たな卸資産以外の物品（第71条—第74条） 第7章 固定資産 第1節 通則（第75条） 第2節 取得（第76条—第84条）

第3節 管理及び処分（第85条—第88条）	第3節 管理及び処分（第85条—第88条）
第4節 減価償却（第89条—第93条）	第4節 減価償却（第89条—第93条）
第5節 固定資産の評価（第94条・第95条）	第5節 固定資産の評価（第94条・第95条）
第8章 リース会計に係る特例（第96条・第97条）	第8章 リース会計に係る特例（第96条・第97条）
第9章 引当金（第98条・第99条）	第9章 引当金（第98条・第99条）
<u>第9章の2 報告セグメント（第99条の2）</u>	[新設]
第10章 予算（第100条—第105条）	第10章 予算（第100条—第105条）
第11章 決算（第106条—第109条）	第11章 決算（第106条—第109条）
第12章 契約（第110条—第112条）	第12章 契約（第110条—第112条）
第13章 雑則（第113条—第115条）	第13章 雑則（第113条—第115条）
附則	附則
<u>第9章の2 報告セグメント</u>	[新設]
<u>第99条の2 下水道事業の報告セグメントの区分は、次に掲げるとおりとする。</u>	
<u>（1） 公共下水道事業</u>	
<u>（2） 農業集落排水事業</u>	
<u>（3） 漁業集落排水事業</u>	

（東彼杵町排水設備工事指定業者規程の一部改正）

第3条 東彼杵町排水設備工事指定業者規程（令和2年水道事業管理規程第6号）の一部を次のように改正する。

次の表に掲げる規定の改正部分は、下線の部分である。

改正後	改正前
<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この規程は、<u>東彼杵町集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例</u>（平成13年条例第2号。以下「<u>集排条例</u>」という。）第8条の規定及び<u>東彼杵町公共下水道処理施設の設置及び管理に関する条例</u>（平成15年条例第9号。以下「<u>公共条例</u>」という。）第6条の規定に基づく排水設備等の工事に関し、適切な施工を確保するため、技能を有するもの（以下「指定業者」という。）の指定について定めるものとする。</p> <p>(指定業者の責務及び遵守事項)</p> <p>第5条 (略)</p> <p>2 指定業者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。</p> <p>(1)～(4) (略)</p> <p>(5) 工事は、<u>集排条例第6条及び公共条例第5条</u>に規定する排水設備工事の計画に係る管理者の承認を受けたものでなければ着手してはならない。</p> <p>(6)～(8) (略)</p> <p>(9) <u>集排条例第9条又は公共条例第7条</u>の検査を行うときには、責任技術者を立ち合わせなければならない。</p> <p>(10) <u>集排条例第9条又は公共条例第7条</u>の検査の結果、不合格と決定されたときは、管理者が指定した期日内に指定業者の負</p>	<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この規程は、_____</p> <p>_____東彼杵町公共下水道処理施設の設置及び管理に関する条例（平成15年条例第9号。以下「<u>条例</u>_____」という。）第6条の規定に基づく排水設備等の工事に関し、適切な施工を確保するため、技能を有するもの（以下「指定業者」という。）の指定について定めるものとする。</p> <p>(指定業者の責務及び遵守事項)</p> <p>第5条 (略)</p> <p>2 指定業者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。</p> <p>(1)～(4) (略)</p> <p>(5) 工事は、<u>条例</u>_____第5条に規定する排水設備工事の計画に係る管理者の承認を受けたものでなければ着手してはならない。</p> <p>(6)～(8) (略)</p> <p>(9) <u>条例</u>_____第7条の検査を行うときには、責任技術者を立ち合わせなければならない。</p> <p>(10) <u>条例</u>_____第7条の検査の結果、不合格と決定されたときは、管理者が指定した期日内に指定業者の負</p>

担において改修し、再度検査を受けなければならない。

(11) (略)

(指定の取消し等)

第8条 指定業者が次の各号のいずれかに該当するに至ったとき管理者は指定を取り消し、又は一定の期間を定めてその業務の停止を命ずることができる。

(1)～(4) (略)

(5) 工事技術上の欠陥により、下水道施設の機能に重大な支障を及ぼしたとき。

2・3 (略)

様式第2号(第4条関係)

(略)

担において改修し、再度検査を受けなければならない。

(11) (略)

(指定の取消し等)

第8条 指定業者が次の各号のいずれかに該当するに至ったとき管理者は指定を取り消し、又は一定の期間を定めてその業務の停止を命ずることができる。

(1)～(4) (略)

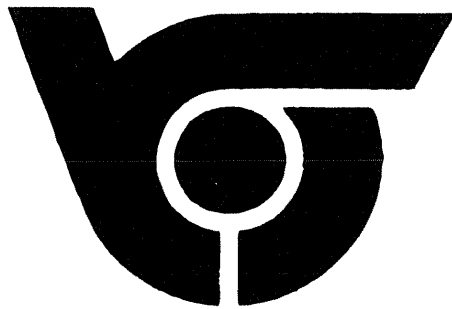
(5) 工事技術上の欠陥により、公共下水道施設の機能に重大な支障を及ぼしたとき。

2・3 (略)

様式第2号(第4条関係)

(略)

様式第 2 号（第 4 条関係）
第 号



東彼杵町排水設備工事指定業者証

商 号	
店 主 又 は 代 表 者 氏 名	
店 舗 の 所 在 地	
指 定 有 効 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
営 業 区 域	東彼杵町集落排水区域内及び公共下水道区域内に限る
年 月 日	
東彼杵町長	
印	

附 則

この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。